

平成29年度 北海道小学校長会
第4回理事研修会
第70回全連小研究協議会北海道大会
参加割当等について
2017. 12. 18



道小教育研究函館大会の参加割当についてご説明する。

来年度の道小教育研究函館大会は、第70回全連小北海道大会（函館市）として実施される。全国から2,400名余りの参加者のもと行われる。資料の6、7ページには、全国の参加割当が、そして8ページに本道の割り当てがのっている。

平成29年度の会員数の調査によると、各地区の会員数は8ページの表のようになっている。その会員数に対して、函館地区は100%、開催地区の第3ブロックは70%、その他の地区は50%の割合として、端数は四捨五入して出している。

参加期待数の合計は、574名となる。

各分科会の人数は、 $574 \div 13$ で、1分科会、44～45名となるが、会場の広さの関係で41～42名というところもある。

各地区の分科会への振り分け人数についてであるが、地区で研究発表のある分科会には、地区の参加期待数に応じて、+2～3名で割り当てている。斜めの数字で表しているところである。

どの分科会にも、20地区全ての地区から参加していることが望ましいところであるが、全ての地区が13名以上の参加期待数ではないこと、また、研究発表の地区の人数を厚くして各分科会の割り振りをしていることから、どの分科会にも参加者を割り振れなかった地区がある。

なお、「参加期待数」について、大会準備委員会では、この期待数に基づいて予算や会場確保等の準備をしているので、各地区におかれては、期待数の確保にご協力をお願いします。